

引用文献

- 亀澤 洋・丸山宗利, 2015. ギョウトクコミズギワゴミムシ・レッドデータブック 2014—日本の絶滅のおそれのある野生生物—5 昆虫類, p. 231, ぎょうせい.
- 森田誠司, 1983. 宮城県名取川のミズギワゴミムシ類 (ミズギワゴミムシ分布資料 3). 甲虫ニュース, (61): 5.
- 森田誠司, 1985. ミズギワゴミムシ亜科. 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝 (編著), 原色日本甲虫図鑑 II, pp. 88–102, pls. 17–19, 保育社.
- 西田光康, 1998. 佐賀県西部の河口付近で得られた甲虫. 佐賀の昆虫, (32): 71–78.
- Pawłowski, J., 1974. Tachyini (Coleoptera, Carabidae) of North Korea. Acta Zoologica Cracoviensia, 19 (9): 155–196.
- 斎藤勝雄, 2016. ギョウトクコミズギワゴミムシ. 宮城県の絶滅のおそれのある野生動物, p. 333, 宮城県.
- Tanaka, K., 1956. Notes on some species of the genera *Tachys* and *Tachyura* from Japan and the Loochoo Islands (Coleoptera, Carabidae). Kontyû, 24 (4): 207–211.
- 田中和夫・山崎秀雄, 1972. 千葉県北部の鞘翅目第2報 (ゴミムシ科). 千葉県動物誌基礎資料, (11): 48–69.
- 田尾美野留, 2006. ゴミムシ類. 高桑正敏・勝山輝男・木場英久 (編), 神奈川県レッドデータブック生物調査報告書 2006, pp. 369–383.
- 山崎秀雄・宮内博至, 2011. ギョウトクコミズギワゴミムシ. 千葉県の保護上重要な野生動物—千葉県レッドデータブック—動物編, p. 272, 千葉県.

(亀澤 洋 (株) 環境指標生物)
(菅谷和希 (株) 環境指標生物)

【短報】キマダラチビカッコウムシの西限記録

キマダラチビカッコウムシ *Isoclerus* (*Isoclerus*) *pictus* Lewis, 1892 は, かつてヨツモンチビカッコウムシとの和名で国内から知られていた (宮武, 1985). *I. (I.) pictus* の原記載者である Lewis は, 本種の上翅には2型が存在することを把握しており, 色彩変異として扱っていた (Lewis, 1892). しかし, 本稿第二著者の村上が日本および台湾産 *Isoclerus*



図1. 石川県産キマダラチビカッコウムシ.

属3種を再検討した結果, 本種のシントタイプには2種が混在し, 1つは本種, もう1種は台湾ンチビカッコウムシ *I. (I.) disinlei* Kolibáč, 1992 の色彩変異であることが判明した (Murakami, 2019). すなわち, 宮武 (1985) が本種として図示していたものは, 実は台湾ンチビカッコウムシの色彩変異であったこと

から, Murakami (2019) によって本種にキマダラチビカッコウムシとの新しい和名が与えられた. これ以上の混乱を避けるため, Murakami (2019) は今後ヨツモンチビカッコウムシとの和名を使わないことを提唱している.

これまでに知られているキマダラチビカッコウムシの分布記録は北海道, 本州 (青森, 栃木, 神奈川, 山梨) であった. 筆者らは本種の西限記録および石川県初記録となる個体を採集したので, 本稿にて報告する.

報告に先立ち, 採集にご同行いただいた石川県ふれあい昆虫館の福富宏和氏に御礼申し上げる.

1 ex., 白山市桑島 大嵐山, 17. VII. 2019, 渡部採集・保管 (図1).

ブナの倒木の表面に生えたキノコ (種不明) より採集されたが, 確認されたのは1頭のみであり, 再現性のある採集事例かどうかは不明である.

引用文献

- Lewis, G., 1892. On the Cleridae in Japan. Annals and Magazine of Natural History, (6) 10: 183–192.
- 宮武陸夫, 1985. カッコウムシ科 Cleridae, pp. 151–161, pl. 24–25. 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之編, 原色日本甲虫図鑑 III. 保育社, 大阪.
- Murakami, H., 2019. Review of the genus *Isoclerus* Lewis, 1892 (Coleoptera, Thaneroceridae) from Japan and Taiwan. Elytra, Tokyo, New Series, 9: 337–347.

(渡部晃平 920–2113 白山市八幡町戊3番地

石川県ふれあい昆虫館)

(村上広将 790–8566 松山市樽味3–5–7

愛媛大学農学部環境昆虫学研究室)

【短報】コブアナアキゾウムシの西表島からの記録

コブアナアキゾウムシ *Pimelocerus pustulatus* (Kôno, 1932) (ゾウムシ科アナアキゾウムシ亜科) は, 台湾・霧社産の1雌に基づき記載された種で, これまでに生態的知見が得られていない比較的大形で珍種のアナアキゾウムシである. 国内からはめ場 (1983) により, はじめて石垣島と西表島から記録されているが, その後の追加記録は筆者らが調べた限りでは見当たらない.

筆者の一人加藤は最近, 西表島において本種を採集しているので, 同島から2例目の記録として, ここに報告する.

1 ex., 西表島上原テドウ山, 1. XII. 2019, 加藤大樹